



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第118号(2013年11月29日)



【中東の航空会社が合同でボーイング機を購入】

エミレーツ・エアラインとカタール・エアウェイという競合する航空会社が、ボーイングから777X旅客機を約1,000億ドル調達する契約で協力していたことが発表されました。競合する航空会社が旅客機の調達で手を結ぶのはとても珍しい事例と言えますし、実際にこの両者が旅客機調達で手を結ぶのは今回が初めてのことでした。

ドバイ航空ショーの場では、カタール・エアウェイのCEOが「旅客機調達時には規模の経済が物を言う。今回共同で交渉して、とても成功裏に終わった。」と話しています。

今回エミレーツは150機、カタールは50機調達しますが、これは新しい旅客機のデビューとしては最大規模の調達となりました。この777Xは2020年以降に納入される予定となっています。

今回の巨額の調達を受けて、業界では中東の航空会社へのパワー・シフトが注目されています。今回の調達の金融的な条件は明らかにはなっていませんが、その調達額の大きさから、ディスカウント、サポート体制、保証といった面でエミレーツ、カタールに相当有利な条件になっているだろうと見られています。

一方でボーイングの側としても、新しい旅客機を出すにあたり、その開発、製造に長期を要することからも、当初に大きな契約を得ておくことは大きなプラスになります。

ボーイングは従来新しい旅客機を出すにあたり、リースも含めてより小規模の航空会社とも契約を結んでいましたが、今回は上記エミレーツ、カタールの他にルフハンザ、エティハドの四社に絞る形をとっており、少数の航空会社に絞ることによってスムーズにサービスを提供することを目指しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【サウジアラビアでの女性の運転禁止問題のその後】

サウジアラビアでの女性の運転禁止問題を受けて、抗議運動は同国に留まらず、海外の著名なラリー・ドライバーなどからも女性が運転する権利を認めるよう声が挙がっています。さまざまな抗議運動のためか、同国においても女性の運転禁止問題について改めて検討する動きも出てきています。

サウジアラビアは絶対君主制のため、法令を定める権限も国王が持ちますが、議会にあたるShuraと呼ばれる会議体があり、Shuraのメンバーの一部が女性にも運転の権利を認めるように動いているようです。但し、このShuraのメンバーは選挙で選ばれるのではなく、全員国王に任命される形をとっています。今回、最近任命された女性のメンバーの一部が運転禁止を解くように動いたものの、依然として男性が圧倒的に多いShuraの中で否決され、政府への提言はなりません。女性の運転が認められるようになるまでには、まだ時間がかかりそうです。

【2020年万国博覧会開催地がドバイに決定】

ドバイ、エカテリンブルグ（ロシア）、イズミール（トルコ）、サンパウロ（ブラジル）の間で争われていた2020年の万国博覧会の開催地がドバイに決まりました。この決定を受けて11月28日はアラブ首長国連邦での全ての教育機関が祝日となることも発表されました。

2020年の万国博覧会開催によって、アラブ首長国連邦および中東全域に及ぼす経済効果も大きなものになるであろうと予測されています。一部の調査では2013年から2020年の間にアラブ首長国連邦で約27万7千人の雇用を創出するとされています。

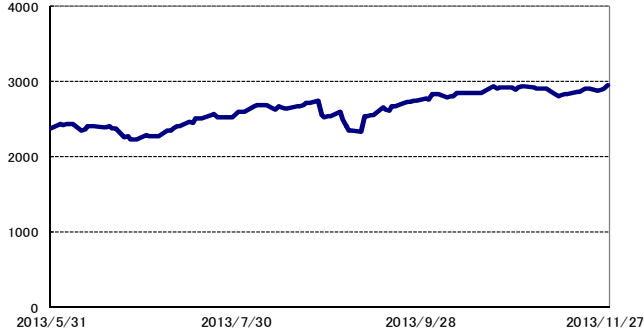


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

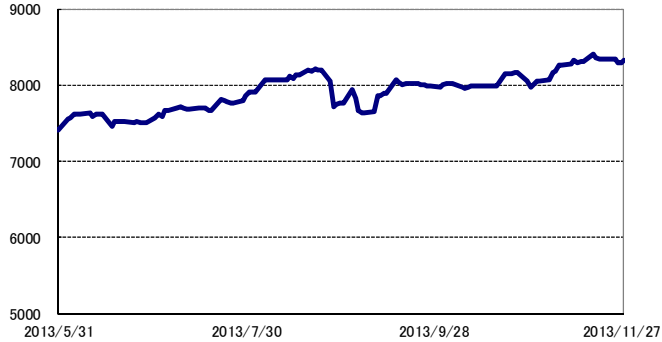


【ご参考】中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

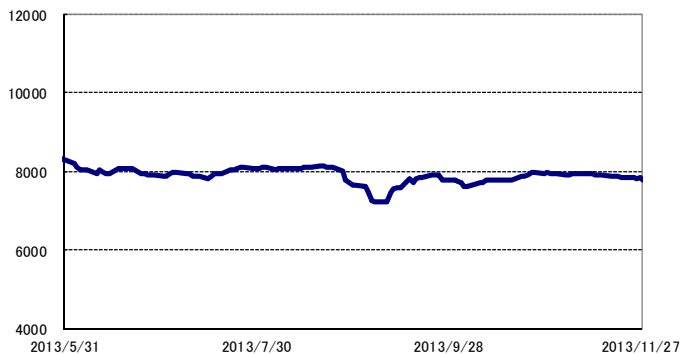
ドバイ金融市場総合指数



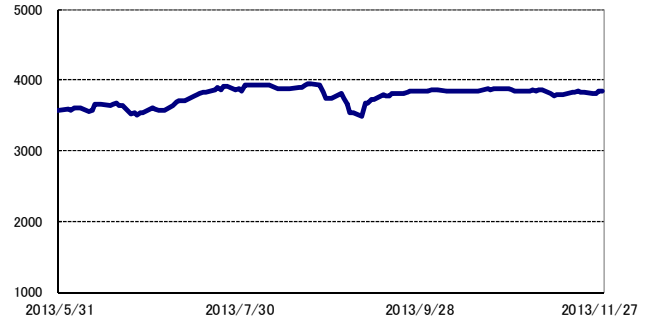
サウジアラビア タダウル全株指数



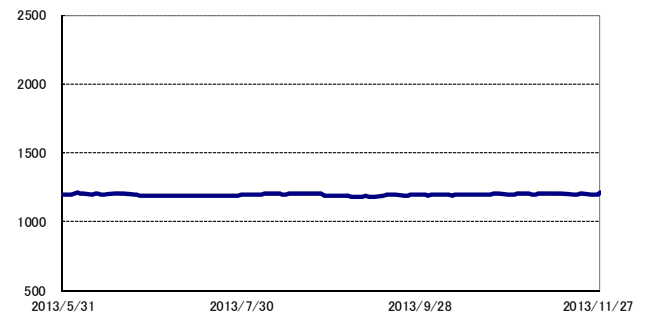
クウェート証券取引所指数



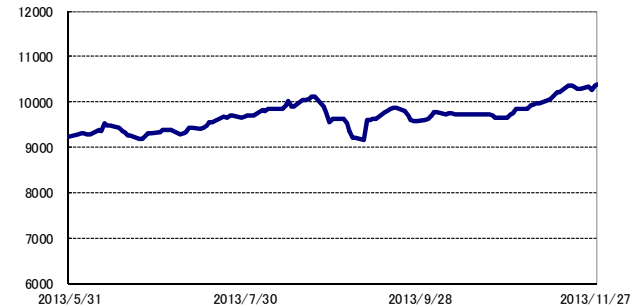
アブダビ証券取引所株価指数



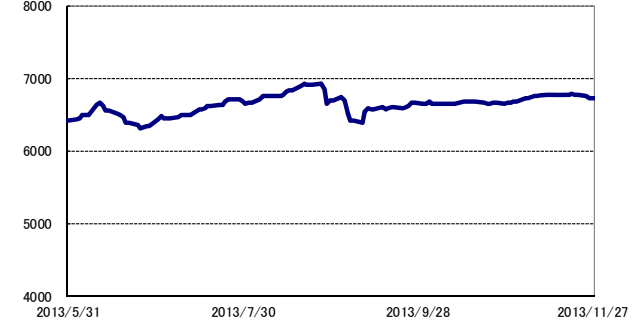
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。